

(6) 2019年(平成31年) 1月31日(木曜日)

1990年10月3日、多くの人が不可能ではないか、と思われた出来事が、ヨーロッパで起こりました。ドイツ統一です。この日、二つのドイツを隔っていたベルリンの壁が崩れ落ち、両ドイツの大勢の住民たちが、国境広場に集まり、共に抱き合い、再び一つになれた事を歡喜しました。その様子は、全世界に報道されました。しかし、そんな中、このドイツ統一のきっかけを作った出来事については、あまり報道されませんでした。それは、町の教会から始まった祈禱会についてです。

始まりました。ただ、その祈禱会に来ていたほとんどが、中高生や青年たちでした。当時、社会主義で、宗教の自由を認められていない東ドイツにおいて、国の許可なく祈禱

を「悔い改めと平和のための祈り会」と名付け、ドイツのために心を合わせて祈りました。すると、週を追うごとに参加者が増えていき、なんと、

崩壊し、祈って来た若者たちが、夢にまで見た「ドイツ統一」が実現したのです。彼らの行動は、他の多くの若者とは大きく違っています。なぜなら、他の多くの若者は、デモ行進や暴動、政治

らめず、まず、その人のために神に祈る事から始めてみませんか。そうするならば、いつの日にか、壁が崩れ落ち、そして、仲直り、復讐する日が来るのではないのでしょうか。

南加キリスト教教会連合

壁が崩れ落ちる時

大久保 満

会をする事は禁止されていまして、ですから、多くの大人は、この祈禱会に来ようとしなかつたのです。しかし、若者たちは、自らの命の危険を冒してまでも祈禱会に参加しました。そして、その祈禱会

ベルリンの壁が崩壊する1カ月前には、参加者が、約7万人にも拡大していました。そして、その1カ月後、彼ら

が、約8年間祈って来た祈りは聞かれ、大きな暴動もなく、平和的にベルリンの壁が

私たちの人間関係の中にも、修復不可能と思える事があるでしょう。しかし、あき

「信仰による祈りは、病む人を回復させます。主はその人を立たせてくださいます。また、もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働く、大きな力があります。」(ヤコブの手紙5章15-16節)

ベルリンの壁が崩壊する約8年前、その当時、東ドイツ側にあった町、ライプツィヒの聖ニコライ教会で祈禱会が

冒してまでも祈禱会に参加しました。そして、その祈禱会

が、約8年間祈って来た祈りは聞かれ、大きな暴動もなく、平和的にベルリンの壁が

私たちの人間関係の中にも、修復不可能と思える事があるでしょう。しかし、あき

(アンカーサウスベイ教会 牧師)